

## 競技者必携2026改定のポイント

NO.	2026必携 ページ	項目	変更・追加内容
1	10	20秒ルール	C) ボールインプレイの状態、打者がバッタースボックス内で・ <u>打者に面したとき</u> 。(削除) →投手が捕手や他の野手からボールを受け取ったとき。
2	16	試合のスピード化 (打者)	④四球の走者が保護具(レッグガード、エルボーガード、その他)を外すときには、本塁周辺で外し一塁へ向かうこと(ヒットバイピッチの時も同様とする)。(新規)
3	36	臨時代走	臨時代走者は、・・・9人の中から打順の前位の者を代走者と認めて試合を進行する(ただし投手及び投手兼任のDHを除く)。
4	48, 49, 53	投球数制限	【学童部(女子共)】④1週間の投球数210球以内(4年生以下180球以内)。(新規) 【少年部(女子共)】④1週間の投球数は350球以内。(追加) 【投球数管理運用】③12秒または20秒が経過し、タイムが宣告されたにもかかわらず、投球した場合は投球数に入れる。(新規)
5	57, 58	試合中の禁止事項	3: 競技場内・・・<中略>ことを禁止する。また、 <u>喫煙可能な場所であっても、ユニフォームを着用しての喫煙は禁止とする</u> 。(新規) 5: 投手が手首や・・・<中略>。なお、 <u>負傷等の応急処置として、テーピングなどの使用を認めることがある</u> 。この場合、担当審判員の許可を得ることとする。但し、 <u>投球に影響を与えるものを直接ボールに触れる箇所には使用できない</u> 。(変更)
6	59, 61	試合のスピード化	1: 守備側タイム(1) 監督またはコーチ等が1試合に・・・<中略>。この際、投手(内野手含む)にペットボトルやタオルを持参することができる。ただし、選手を帯同させることはできない。(追加) 10: 打者について(3) 打者がたとえば判定に不服で、あるいは攻撃側のサイン交換が異常に長く、球審の督促にもかかわらず、なかなかバッタースボックス内で打撃姿勢をとうとうしなかった場合、 <u>球審は投手に投球を命じることなく自動的にストライクを宣告する</u> 。(変更)
7	64	用具・装具	7: <u>アイブラック(アイパッチ)の使用を認める</u> 。(新規)
8	119	質疑応答	62: 答 走者をアウトにしようとする一連の動作で右投手が三塁(左投手が一塁)へ振り向き、踏み出して送球することは正規の動きであるので差し支えない。(5.07a(1)【原注2】②)
9	123	質疑応答	78: 答 <u>windアップポジションでもセットポジションでも、投球に関連する動作投球動作を起こす前なら、投手板に触れたまま、走者のいる塁に送球しても差し支えない</u> 。(5.07a(1)【原注2】②) 5.07d, 6.02a(1)(4))
10	141	質疑応答	146: 答 <u>フェア地域またはファウル地域に関係なく走者はアウトになる</u> 。(5.09b(7)【注2】)
11	171	質疑応答	69: 答 <u>ボークではない</u> 。しかし、投手が自由な足を踏み出さず、対面する塁へけん制球を投げるとき、外した軸足が再び投手板につけばボークとなる。(5.07(a)(2)【注5】)
12	217,220, 224,225	審判上の取り決め事項	8: <u>ハーフスイングの際の、チェックスイングの要請</u> なお、バントは定義上スイングではない、となっているが、アマチュア野球(軟式野球)では、バントのときでもハーフスイングのときと同様、球審は塁審にアドバイスを求めることができる。(追加)  15: <u>正しい投球姿勢の徹底</u> 4 <u>セットポジションから投球する投手は、・・・&lt;中略&gt;。その保持に際しては、身体の前面ならどこで保持してもよいが、同一打者のときは同じ位置でなければならない</u> 。ただし、打者によって止める位置を変えることは構わない。(追加)  20: <u>投球姿勢(ハイブリッドポジション)及び申告に対するサインについて(新規)</u> 塁に走者がいるときに、投手が投手板に軸足を並行に触れ、自由な足を投手板の前方に置いた場合、その投球姿勢はセットポジションとみなされる。ただし、打者が打席に入る前に、投手が「windアップで投球する」旨を審判員に申告した場合は、前述の投球姿勢であったとしてもwindアップポジションとして投球することができる。(5.07(a)(2)②【原注】、【注6】、【注7】) 【球審のサイン】① <u>セットポジション → ハイブリッド姿勢によるwindアップポジションへの申告があった場合</u> 、球審は、「両手を身体前面で合わせ、頭頂部へ振りかぶる動作」をジェスチャーで示す。② <u>ハイブリッド姿勢によるwindアップポジション → セットポジションへ戻す申告があった場合</u> 、球審は、「両手を身体前面で合わせ、そのまま保持する姿勢」をジェスチャーで示す。 ※上記のジェスチャーが球審の基本サインであるが、必要に応じて言葉を添えて示しても良い。
13	229	試合の終了	○宣告用語「礼」 ○宣告 ②球審の合図により全員脱帽をして、相互に礼を交わす。
14	215	審判員に関する取り決め事項	審判員に関する取り決め事項4の必ず、を削除する事に伴い文章を見直した。 4: <u>試合開始前に担当審判員(控え審判員を含む)は相互のコミュニケーションを深めるために、決まりごと等の打ち合わせを行い、試合が終わったらアフターミーティングを行う</u> 。